

## 奈良、平安時代の地方政務の中心地

一般社団法人・大昔調査会と岡谷市教育委員会は15日午後1時半から、奈良、平安時代の地方政務の中心地跡「榎垣外遺跡」(同市長地)に焦点を当てた「古代 諏訪国シンポジウム」を同市中央町のイルフプラザカルチャーセンターで開く。調査研究に関わる専門家5人がパネリストを務め、発掘された遺構や遺物を通して見えてきた当時の暮らしぶり、律令国家の成長と衰退などを読み解き、古代諏訪の都に迫る。

(鮎沢健吾)

# 「榎垣外遺跡」に焦点

大昔調査会  
岡谷市教委

古代 諏訪国シンポ15日



10月25日に開かれた「榎垣外遺跡」を見て歩く催しで、スクモ塚古墳を訪ねた参加者たち。同遺跡に焦点を当てたシンポジウムが15日に開かれる

大昔調査会は今秋、市教委や岡谷商工会議所のまちあるき事業「おかやるく」と連携して、榎垣外遺跡の探究企画を展開する。市立岡谷美術考古館の特別展示コーナーでギャラリートークを催したのに続き、10月25日はガイドの解説を聞きながら官衙遺構(役所跡)や遺物の出土地を見て歩く企画を実施。定員に達する盛況ぶりを見せた。

シンポジウムは一連の企画の最終回で、発掘に立ち会った市教委の山田武文さんをはじめ、諏訪考古学研究会の鶴飼幸雄会長、県考古学会会員の小平和夫さん、飯田市考古博物館の小平博行館長、県考古学会元会長の会田進さんがパネリストとして登壇。発掘調査の成果などテーマに沿っ

て進行する。

約1・3キロ四方の広範囲に及ぶ同遺跡には諏訪郡(現在の諏訪、上伊那)を統治する律令時代の郡衙(役所)があり、1982年に行った長地保育園建設に伴う調査で掘立柱の長大な建物跡を確認。役所の中心的な建物「正庁」があったと特定された。居住エリアが役職別に分かれていたと考えられるほか、721年に諏訪国が独立した際には国衙になった可能性もあると推察されている。

参加無料。事前申し込みが必要。定員の残り枠が少なくなっており、早めの申し込みを呼び掛けている。申し込みは市教委生涯学習課(電話0266・24・8404)へ。